

部活応援隊が行く!!

競技を通じて、人間力を育む

四日市メリノール学院高等学校 バドミントン部

高校から競技を始める部員が大多数を占める
四日市メリノール学院高等学校バドミントン部。
今年は男女あわせて約30人が所属しています。
フィジカル面の強化に力を入れながらも、楽しく取り組めるメニューを採用し、
和気あいあいとした雰囲気の中で、練習に汗を流しています。

競技の魅力を？

Q1 競技の魅力は？

A1 (浅井さん) バドミントンは常に動いている競技なので、長距離を走っているように運動量が多いところは大変ですが、周りの人たちと切磋琢磨して上達できるのが魅力です。

キャプテン(2年生)
浅井 良菜さん
(あさい りな)

Q2 キャプテンとして心がけていることは？

A2 (浅井さん) 練習メニューを進めるように声をかけたり、みんなを引っ張っていったりするよう心がけています。私がキャプテンで良かったと言ってもらえるような1年にしたいです。

Q3 今の目標は？

A3 (浅井さん) 11月に開催される秋季大会でのベスト16です。

Q4 チームの強みと課題は？

A4 (浅井さん) 部員同士の仲が良くて、真面目に取り組むときと、楽しむときのメリハリがつけられるところです。また、応援のときの声の大きさは、他校に負けないと思います。課題は、練習の成果を試合で発揮できないときがあるところです。

Q5 指導で心がけていることは？

A5 (後藤先生) 体幹のトレーニングやフットワークなどフィジカル面の強化に力を入れつつ、長く続けてもらえるよう楽しんで取り組めるメニューづくりを心がけています。

(太田先生) 技術の上達はもちろんですが、スポーツを取り組む上で大切な礼儀やマナーを伝えています。

二次元コードを読み取るとバドミントン部のコメントが見られます。



Q6 部員の成長を感じるときは？

A6 (後藤先生) 大会や学校行事の運営にボランティアとして積極的に参加しています。そういった部活動以外での経験を通じて、積極性や他者を思いやる心が育まれてきたように感じます。

Q7 部活動を通しての学びや取り組みは？

A7 (後藤先生) 相手の動きを意識することが大切なバドミントン競技を通じて、他者のために考えることができ、また自分自身を深く見つめられる人になってほしいです。

(太田先生) 部活を通じていろいろな会で出会うことも経験すると思いますが、「部活を頑張ったから今がある」と将来の支えになることを願っています。

顧問(男子チーム) 太田 有紀先生
顧問(女子チーム) 後藤 優貴先生

